

本日の内容

1. 幕末、鹿児島（薩摩藩）が日本の政局で中心的な役割を果たした原動力について
2. 歴史の他にも鹿児島の見どころを紹介します
3. 鹿児島の地域課題と県民性について

本日の内容

1. 幕末、鹿児島（薩摩藩）が日本の政局で中心的な役割を果たした原動力について
 - ① 島津斉彬公の先見の明
 - ② 薩英戦争からの学び
 - ③ 郷中教育
 - ④ 西郷隆盛のリーダーシップ

1. 歴史の他にも鹿児島の見どころを紹介します



《初めに》

〇〇高等学校の皆様、こんにちは！

私は鹿児島の NPO 法人かごしま新発見伝塾の理事長で、かごしま検定グランドマスターの今井俊子と申します。今日は皆様をバスでご案内するスタイルでお話したいと思います。私は普段は県内・県外からの観光客の皆様に鹿児島の史跡を巡るバスツアーでご案内したり、街歩きや、講座を設けたりして鹿児島の歴史を広く知ってもらう活動をしています。今日はこのような機会を頂きありがとうございます。

さて、今日は次の3つのテーマに沿ってお話を進めていきたいと思っています。

- ①、最初に「幕末に何故日本の南の端の鹿児島が政局の中心にいたことができたのか、」という歴史の話。
- ②、次に歴史の「他に鹿児島にはどんな見所があるのか」ということ。
- ③、そして最後に「鹿児島県が抱える地域課題と県民性の特徴について」お話しします。

それでは最初のテーマ①鹿児島が幕末にどうして政局の中心にいたことができたのか、その謎について、4つの項目に分けて夫々にご紹介したいと思います。

1、島津斉彬の先見の明（功績）

① 集成館事業

1853 年ペリーが来航しました。すると一挙に緊張が高まりました。このままでは日本は植民地にされてしまう。その時斉彬は日本を植民地にしない為に近代国家を作り、日本を強く豊かにするための「集成館事業」を興しました。これは江戸時代の島津の殿様の別邸仙巖園です。美しい大名庭園として世界中からお客様がお見えになります。

ここに工場群をつくりました。

斉彬から見る仙巖園は面白く興味は尽きません。

集成館事業は反射炉（製鉄）、造船、紡績、電信、写真、印刷、薩摩切子など多岐にわたり近代産業のさきがけとなりました。集成館事業で最も大切なことは「人の和」と言っています。

“ものづくりは人づくり”という有名な言葉を残しています。



どうして仙巖園にこのような工場を作ったのでしょうか。
それは地の利に恵まれていたからです。前には海が広がり、後背地は山になっていて、その上は水田が広がり、用水路が作ってありました。その用水を使い、落差を利用して水車を回して動力にしたのです。

集成館事業はすべて日本人だけで作られており、2015 年「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録されています。

② 人材育成

* 斉彬は有能であれば身分を問わず適材適所で起用するという斬新な考え方でした。

* この国のリーダーを育てる・・・

斉彬の育てた明治の元勳たち

島津久光(斉彬の異母弟、国父)・・・会長

小松帯刀(筆頭家老、藩の指示、まとめ役)・・・専務

西郷隆盛・・・部長

大久保利通・・・部長

黒田清隆(第2代総理大臣)・・・北海道開拓使長官を務める

大山巖(陸軍元帥)・・・日露戦争 203 高地を陥し、ロシアを破りました

東郷平八郎(海軍元帥)・・・日露戦争バルチック艦隊撃破
東洋のネルソン

久光、小松を除いてはすべて下級武士

③ 近衛家の協力・・・朝廷工作

元々島津家は鎌倉時代、鎌倉幕府の御家人として、近衛家を守る武士でした。良好な関係は江戸時代まで 700 年間に亘って続き、幕末に中央で活躍できたのも近衛の協力があったからです。

2、薩英戦争からの学び

① 生麦事件から薩英戦争

1858 年斉彬が急死します、後を継いだ久光は江戸へ出て、一橋慶喜らと公武合体を決め、江戸から帰る途中横浜の生麦村でイギリス人を無礼打ちにしまいます。怒ったイギリスは賠償金と下手人の引き渡しを要求して、7 隻の軍艦で鹿児島に来航し、薩英戦争となります。

② 戦後処理

鹿児島はこの戦争を通して、戦うより学ぶべきと考えました。



③ 4人の使節団と15人の留学生をヨーロッパに派遣しました。(薩摩藩遣英使節団、サツマスチューデント)

この人たちが西洋の文化を学び、後に明治という新しい時代を切り開いて行ったのです。

例えば、大河ドラマ「青天を衝け」でディーン・フジオカ演じる五代友厚、森有礼(初代文部大臣)寺島宗則(日本電信の父、外務卿)長沢鼎(カルフォルニアの葡萄王)村橋久成(サッポロビールの創業者の一人)等が含まれます。

3、郷中教育

それでは次に、薩摩独特の教育制度についてご紹介しましょう。

① 武士の家に生まれた男子は、一つの区域で5才から25才まで一緒に学ぶというシステムがありました。--113の外城。先輩が後輩を教える、仲間で教えあう自主学習で先輩が模範を示し、後輩は礼儀と先輩への敬意を学ぶという、ここでも「人の和」が大切にされました。

基本の教えは・「負けるな!うそを言うな!弱い者をいじめな!」というもので、朝、夕に唱和しました。

② 学問 歴史書を中心に物凄い数の書物を読み、四書五経、日新公いろは歌、詮議、などがありました。

詮議とは咄嗟の時どうするか、ということ学ぶ学習方法

③ 武芸は有名な自顕流(薩摩独特の必殺剣)、相撲など体力作りに励みました。

このような教育を受けることで幕末明治に政局を動かす人物が数多く生まれたわけです。



4、西郷隆盛のリーダーシップ

① 斉彬が自慢した。

1858年(安政5)5月鹿児島に入港した咸臨丸の艦長勝海舟を仙巖園に招待し、斉彬自ら集成館事業を案内した後、食事をしながら「近頃私は良いものを手に入れました。」

「ほう、それはなんですか?」「西郷吉之助という者です。これは未だ若く欠点もありますが、私が育てれば将来きっと素晴らしいリーダーになります」と自慢しています。





② 農民達の苦しを知る。

西郷は下級武士の家に生まれ、17才で農村を廻って農民達に米を作らせ、年貢として納めさせる仕事をしていました。毎日農民達と暮らしていると、貧しさや苦しさを目にします。これを斉彬に手紙で訴えると、斉彬は西郷に真っすぐな心を見たのです。そして江戸に連れて行き、世の中の事を学ばせました。西郷はそれに見事に応え、“おいどんは殿様の為に頑張ろう”と考えたのです。ここに薩摩の西郷から日本の西郷が誕生しました。

③ 幾多の苦難と死に直面

斉彬が急死すると西郷にも幾多の苦難と死に直面する場面が訪れます。しかしその度に不思議と生き残るのです。西郷は考えます、もしかしたら自分の命は天が生かしてくれているのだろうか、そうであれば天のおもむくままに生きてみようと。

④ 「敬天愛人」「利他の心」が生まれたのです。

⑤ 坂本龍馬とイト夫人のエピソード

皆様の中には坂本龍馬が大好きという方もいらっしゃるでしょう。実は龍馬は2度も鹿児島を訪れています。一度目は西郷の家に泊まりました。その時西郷は新婚で借家住まいで、妻の名をイトといいます。ここで龍馬とイト夫人との面白いエピソードがありますのでご紹介しましょう。

*「旦那様、家の雨漏りがひどいので屋根を修理してたもはんか」とイト夫人が頼むと、西郷は「今は日本中が雨漏りじゃ、もうちっと我慢しやんせ」と返し、聞いていた龍馬は二人の会話に吹き出したそうです。

*もう一つ。龍馬がイト夫人に「西郷さんのお古でいいのでフンドシを貸してくれませんか」と頼むと、「これでいいでしょうか」と、洗ってはあったが使い古しのフンドシを貸したそうです。後から聞いた西郷は烈火の如く怒り、あの大きな目をまん丸くして「あの坂本さんはこれからの日本を背負っていく大事な人じゃ、なんというこっか！はよ新しフンドシを買ってきやんせ」と。イト夫人は後年「旦那様は優しい方で、怒いやったのは後にも先にもあの1回だけじゃった」と述懐されたということです。

坂本龍馬とのエピソード



西郷イト夫人



西郷武屋敷



西郷野屋敷 (農作業小屋)



西郷野屋敷 (農作業小屋)

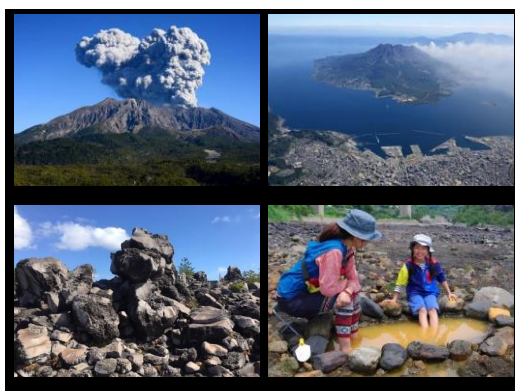


《西郷に感化を受けた稲盛和夫氏》

- ① 京セラ、KDDI (au など) の創業者
- ② 2兆3千億円の負債から日本航空を再建
- ③ 社是は「敬天愛人」。以降、世界中に「敬天愛人」「利他の心」を社是とする会社が広がった。

本日の内容

1. 幕末、鹿児島（薩摩藩）が日本の政局で中心的な役割を果たした原動力について
2. 歴史の他にも鹿児島の見どころを紹介します
3. 鹿児島の県民性と地域課題について



知覧特攻平和会館

皆さんと同世代の少年兵もたくさんこの地から特攻に出撃しました



②他の鹿児島の見どころ

《鹿児島のシンボル桜島》

市街地の目の前にどっかりと腰をおろす桜島は錦江湾の丁度真ん中付近に噴出した活火山です。今から約3万年前に巨大噴火により始良カルデラを形成。その後4千年程経過した後カルデラの淵から火山活動がはじまり徐々に大きく成長して出来たのが高さ1,117mの桜島です。今でも時々噴煙を上げていますが、地球年令でいうと8才位だそうですから、これから更に大規模な火山活動を続けていくのでしょうか。実際に桜島に渡って溶岩原の中を歩いてみると、その凄さが実感出来ます。今でも3,000人の住民が噴煙が上がる中、平然とくらしています。4Kmしか離れていない市街地に60万人がすんでいるのも驚きですね。

鹿児島県には活火山が11ありますので、火山の恵みの温泉がいたるところに湧き出しています。鹿児島市のほとんどのホテル、旅館は温泉の風呂を楽しめますし、銭湯もすべて温泉です。

《その他の見どころ》

薩摩藩の居城鶴丸城の御楼門です。昨年3月復元されたものです。次は維新ふるさと館です。明治維新に関する資料を紹介しています。そして石橋公園です。街の中心を流れている甲突川に架かっていた五石橋を移設展示しています。当時の高い技術がわかります。25代島津重豪が建てた天文学調査の「明時館」（通称天文館）の跡です。今は鹿児島随一の繁華街となっています。

市内から離れますが、小一時間位のところに知覧という所があります。そこに知覧特攻平和会館というのがあります。ここに若い特攻兵士の物語があります。平和を考える良い機会になるのではないのでしょうか

本日の内容

1. 幕末、鹿児島（薩摩藩）が日本の政局で中心的な役割を果たした原動力について
2. 歴史の他にも鹿児島の見どころを紹介します
3. 鹿児島の地域課題と県民性について



本日のまとめ

1. 幕末、鹿児島（薩摩藩）が日本の政局で中心的な役割を果たした原動力について
 - ① 島津斉彬公の先見の明
 - ② 薩英戦争からの学び
 - ③ 郷中教育
 - ④ 西郷隆盛のリーダーシップ
2. 歴史の他にも鹿児島の見どころ
 - ① 桜島と県内全域に渡る豊富な温泉
 - ② 史跡群
3. 鹿児島の県民性と地域課題について
 - ① 豊富な一次産業と観光資源
 - ② 如何に魅力を発信し、観光誘致するか？

③ 鹿児島県が抱える地域課題と県民の特徴

鹿児島県は現在の人口 160 万人。一次産業は全国 2 位の食糧供給県として牛、豚、鶏の生産額は群を抜いており、（例えば鹿児島黒牛が和牛日本一というのをご存知ですか）又、さつまいも、お茶、さとうきび、生乳、馬鈴薯などの農業分野も全国トップを占めているものも多いのです。 漁業では養殖のブリ、カンパチの生産高も日本一です。

ここからは課題になりますが、昔からよく言われるのが、鹿児島県は様々な宝物に恵まれているのに肝心の県民がよく知らない。そして“宣伝下手だ！”ということです。例えば天皇家の祖先であるニニギノ命、ヒコホホデノ命、ウガヤフキアエズノ命の三人のお墓はいずれも鹿児島県にあり、それを宣伝すれば多くの観光客が訪れるでしょうが、県民性として素晴らしいこと、優れていることを自慢しない、恥ずかしがり、奥ゆかしさということが言えると思います。この 7 月には沖縄・奄美大島・徳之島が世界自然遺産に登録されます。世界自然遺産 2 件（屋久島と沖縄・奄美大島・徳之島）世界文化遺産 1 件（明治日本の産業革命遺産）合計 3 件もあるのは鹿児島県だけです。

以上様々にご紹介して参りましたが、皆様如何でしたでしょうか。

今日のお話を聞いて皆様が少しでも鹿児島を身近に感じて頂いたら嬉しいです。これで私のお話は終わらせて頂きます。ご清聴有難うございました。この後ご質問にお答えしたいと思います。

NPO 法人かごしま新発見伝塾

理事長 今井俊子